

第3回 東日本大震災を踏まえた仮貯蔵・仮取扱い等の安全確保の あり方に係る検討会 議事概要

1 日時

平成25年3月21日（木） 10時00分から12時00分

2 場所

東京都千代田区霞が関一丁目3番1号
経済産業省 別館10階 1031号会議室

3 検討会委員（五十音順、敬称略）

大谷英雄（座長）、青戸久明、大曽根徳明、穴戸仁（車塚委員代理）、村上治三郎（越谷委員代理）、清水崇一（大竹委員代理）、佐藤義信、紫竹益吉、胎中利夫、西晴樹
小林恭一（欠席）、大滝和良（欠席）

4 議事内容

検討報告書（案）の審議内容については以下のとおり

【事務局】資料の検討報告書（案）について、さらに以下の内容を追記したい。4.1中「ガソリンを火源とした火炎輻射の簡易計算結果」の表に、参考として木材が無制限時間の加熱を受けても着火しないとされる値が示されているが、これに初期消火等を考慮した人体への評価も追記したい。

4.2(2)中、窪地の影響について可燃性蒸気が窪地に流れ込み滞留する効果が見られなかったとされているが、シミュレーションでは窪地にはある程度は可燃性蒸気が流れ込む結果も示されているため、窪地が存在する場合の留意についても追記したい。

【座長】4.2の図について、「垂直断面図」等の説明文を追記することが必要である。

また、検討報告書第5章の留意事項に、危険物を取扱う場所は水平な地盤面であるべき旨の記述があった方がよい。

【委員】空地について、貯蔵・取扱いを行っている場所と周囲の間に空地を確保することとして運用しているが、5.1のイラストが若干わかりにくいので矢印の追加等した方がよい。

【委員】仮貯蔵・仮取扱いを申請する事業者側と、それを承認する消防機関側に対し、今回示されたガイドラインが広く伝わるような努力をして欲しい。

検討報告書（案）は基本的に承認され、意見を踏まえた修正と確認については座長に一任することとされた。

以上